

大学コンソーシアムひょうご神戸
2025年度 第5回 国際交流委員会 議事録

日時：2026年3月27日(金) 12:30~13:10

開催場所：Zoom オンライン開催

出席校：【委員長】 兵庫県立大学	中山主任（陪席）
【副委員長】 神戸市外国語大学	中嶋センター長、壽谷係長
【委員】 明石工業高等専門学校	本塚センター長（代理）
芦屋大学	田口氏
関西国際大学	佐藤教授
関西学院大学・関西学院短期大学	長谷教授、鳥山次長
甲南大学	中川副所長
神戸大学	木村課長
神戸海星女子学院大学	内山氏
神戸学院大学	影本事務部長
神戸国際大学	北センター長
神戸市看護大学	下井田氏
神戸松蔭大学	高木氏
神戸親和大学	関根課長
流通科学大学	辻准教授、上田氏

(欠席校：大手前大学、大手前短期大学、関西福祉大学、甲南女子大学、神戸女学院大学、神戸常盤大学、園田学園大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、芸術文化観光専門職大学)

(コンソ事務局：鈴木、慈)

I. 審議事項

- 2025年度国際交流委員会事業報告・決算（案）について (資料1)
 - 【取組1】兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施
 - 【取組2】加盟校の国際交流プログラムとの連携促進
 - ①学生海外派遣プログラム
 - ②事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム

II. 報告事項

- 神戸常盤大学2026年度学生海外派遣プログラムについて (資料2)

III. 連絡・調整事項

- 兵庫県主催令和8年度チャレンジ留学 HYOGO若者「海外武者修行」応援プロジェクトの実施について (資料3)
- 2026年度の国際交流委員会開催予定と主な議題について
 - ・2026年度 第1回国際交流委員会
 - 開催日 : 4月下旬予定
 - 場所 : 兵庫国際交流会館1階 ナダコムステーション
 - 主な議題 : 2026年度国際交流委員会事業計画・予算（案）について

以上

<資料一覧>

- 【審議事項 1 (参考)】資料 1-1：2026 年度事業計画・予算(案)及び 2025 年度事業報告・決算(案) の作成について (依頼)
- 【審議事項 1】資料 1-2：2025 年度国際交流委員会 事業報告・決算 (案)
- 【報告事項 1】資料 2-1：神戸常盤大学 学生海外派遣プログラム 資料 (差替予定)
- 【連絡・調整事項 1】資料 3-1：「チャレンジ留学 HYOGO 若者「海外武者修行」応援プロジェクト 資料

I. 審議事項

1. 2025 年度国際交流委員会事業報告・決算 (案) について

- 1) 【取組 1】兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施
- 2) 【取組 2】加盟校の国際交流プログラムとの連携促進

①学生海外派遣プログラム

②事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム

慈事務局員より、資料 1-1 に基づき、2025 年度国際交流委員会事業報告・決算 (案) について説明があり、全員異議なく承認された。

II. 報告事項

1. 神戸常盤大学 2026 年度学生海外派遣プログラムについて

慈事務局員より、資料 2-1 に基づき、神戸常盤大学 2026 年度学生海外派遣プログラムについて、報告があった。本プログラムに関するチラシ・実施要項は、本委員会終了後に全委員校に向けてメールにて送付する旨通知があった。

III. 連絡・調整事項

1. 兵庫県主催令和 8 年度チャレンジ留学 HYOGO 若者「海外武者修行」応援プロジェクトの実施について
兵庫県産業労働部国際課 徳永様より、資料 3-1 に基づき、「海外武者修行」応援プロジェクトについて説明があった。

<主な意見等>

- ・このプロジェクトは来年度以降も継続して実施されるのか。
→未確定であるが、実施したい意向である。
- ・実施時期について。応募期間が 4 月 24 日まで、渡航が夏と、早すぎるのではないか。大学 1 年生に合わせたスケジュールではないのではないのか。
→もともと高校生向けプロジェクトであったことから、高校生に重点的に周知している。高校 3 年生の段階で情報が届いている前提でこのスケジュール設定をしている。
- ・対象者およびその生計維持者が兵庫県内在住者となると広い地域から学生の集まる大学においては、対象外となる学生が多数出てくる。
→県の事業なので制約がある。今後のプロジェクト概要の検討項目とする。
- ・活動・研究の分野は、学校や大学で学ぶ学問ではなくそれ以外の課外活動に焦点を当てているように見えるがそのような理解でよいか。
→学問に限らず生徒・学生が自分の能力を發揮できる分野を選択できるようにしている。
- ・兵庫県産業労働部は本来人材育成に重きを置いていると思うが、本プロジェクトは教育分野である。大学生より就労に遠い高校生を対象としてプロジェクトが始まったのはなぜか。
→早いうちからグローバルな視点・能力を養い国際的に活躍する若者育成を目指す。

2. 2026 年度の国際交流委員会開催予定と主な議題について

慈事務局員より、2026 年度 第 1 回国際交流委員会の開催予定、場所、おもな議題について説明があった。

以上をもって、2025 年度第 5 回国際交流委員会の議事は終了した。